

木材価格市況標準相場

令和6年5月7日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	10
南洋材・中国材	2
米材役物製品	2
北洋材・北欧材	3
合板	3
(2) 値下げ品目	2
国産材構造材	2

○今月の市況動向

4月の商況は先月同様に、荷動きは低調との報告が多かった。その中で10品目が値上がりとなった。運賃UP分については、価格に転嫁出来ないとの意見が大半を占めた。

(国産材) 原木価格は弱く、秋田では来月も下がりそうだとのこと。構造材の荷動き不振は続いており、小割・注文材の動きは良いとの内容であった。

(輸入材) 現地価格の上昇と円安で、大幅なコストUPとなっている。北洋材では東京木材埠頭の在庫量が、ウッドショック時の在庫量を下回っているとの報告もあった。南洋材に関しては、現地価格が上がっている理由についての質問があり、人件費が大きいとの返答があった。

(合板) 国内針葉樹合板では、メーカーの値戻しが多少通っているものの、旧値が混じり合って、未だ唱え価格には届いてないとのこと。輸入合板では、型枠用合板を中心に荷動きがあり、首都圏の港頭在庫は減少するとの報告であった。